

別紙2 「学びの継続計画」について ～いつ臨時休業になっても学びを続けられるために～

学びの改革支援課

新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も断続的な臨時休業が起こりうる状況にある。そのため、次にいつ臨時休業になっても、児童生徒の学びを保障するための準備を進めることが重要である。

そこで、臨時休業中にも児童生徒の学びを保障する「学びの継続計画」を作成し、各校が学びを止めないマネジメントを行う。

1 趣旨

再び臨時休業になっても、児童生徒の学びが継続するよう、「自律して学ぶ力」を身に付けたアクティブ・ラーナーを育てる教育環境を整える

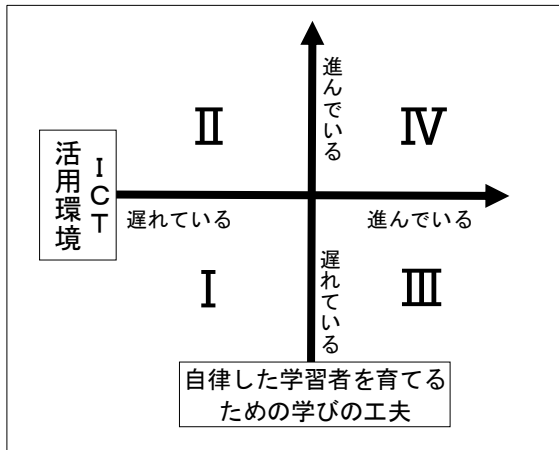
年度初めの臨時休業では、小中学校で約3割、高等学校で約4割の学習進度であった。再び臨時休業となった際には、遠隔学習を充実させて学習進度100%を目指す。そのため、平常時における授業のあり方から見直していく。

2 「学びの継続計画」の作成手順例

手 順	具体例
<p>(1) 年度当初の臨時休業の成果や課題を、児童生徒、保護者、教職員からアンケートで収集する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>3者へ同じ内容をアンケートすると、機能した点と機能していなかった点が明らかになる。</p> <p>(例) 過度な量を課さないよう調整したが、生徒の受け止めは違っていた。</p> </div>	<p>〈例 児童生徒に向けたアンケート項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休業中は、自ら計画を立て学習を進められましたか。 ・学校から出された家庭学習の量はちょうどよい量でしたか。 ・ICT機器を使った家庭学習に意欲を持って取り組みましたか。 <p>〈例 保護者に向けたアンケート項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お子さんは、自ら計画を立て学習を進めていましたか。 ・家庭学習の量はちょうどよい量でしたか。 ・お子さんは、ICT機器を用いた学習に意欲を持って取り組んでいましたか。 <p>〈例 教職員に向けたアンケート項目〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が計画を立てて学習を進められるよう工夫しましたか。 ・家庭学習について適当な量を課しましたか。 ・ICT機器を用いた家庭学習で意欲を持てるよう工夫しましたか。
<p>(2) アンケート結果を基に、自校の現状を把握し、強みと弱みを整理する。</p>	<p>○ アンケート結果を集計したものを全教職員に配付し、臨時休業中に行った学校の対応や児童生徒の状況等を対話的に振り返る。</p> <p>〈対話的に振り返る例〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アンケートの集計結果について気付いたことや疑問を自由に出し合う。 2. 気付きや疑問を同じような内容同士でまとめていく。 3. 新型コロナウイルス感染症による学びの変化への対応とICT活用環境に関するものに分類し、自校がどの状況にあるかを把握し共有する。 4. 自校の強みと弱みを見いだす。
<p>(3) 弱みを補い、強みを伸ばす方策を教職員間で議論し、具体的に考える。</p>	<p>○ 自校の現在の状況を把握した上で、弱みを補い、強みを伸ばしていく方策について、例えば、「恒常対策（一人一台端末時代の授業に向けた準備）」と「緊急対策（準備中に臨時休業となった際の対策）」を具体的に考える。</p>
<p>(4) 「学びの継続計画」に整理してまとめ、学校・児童生徒・保護者等と共有する。</p>	<p>○ 「学びの継続計画」について簡易的にでもまとめておく。</p> <p>○ 「学びの継続計画」を基に諸準備を進める。</p> <p>○ 継続的な評価・改善が進むよう、職員会議やPTA、学校運営協議会等の機会を適宜活用し、「学びの継続計画」に係るPDCAサイクルを構築する。</p>

3 自校の状況把握と対策の考案

(1) 自校の状況が下図のどのフェーズにあるか把握する。



- I : ICT活用環境も、学びの工夫も遅れている
- II : ICT活用環境は遅れているが、学びの工夫は進んでいる
- III : ICT活用環境は進んでいるが、学びの工夫は遅れている
- IV : ICT活用環境も、学びの工夫も進んでいる

(2) 各フェーズにおける「恒常対策」と「緊急対策」について具体策を考案する。

フェーズ	恒常対策：中長期的な準備・対応 (一人一台端末時代の授業に向けて)	緊急対策：短期的な準備・対応 (準備中に臨時休業となった際の対策)
各フェーズに共通する対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平常時における授業の見直しをする ・ 児童生徒の家庭にある ICT 環境を調査する ・ ICT 環境のない児童生徒がオンラインで学べる場を確保する ・ 教職員の ICT スキル向上の研修を行う ・ スマホの利用規則やセキュリティ等を見直す ・ 休業時の「学びの変化への対応」学習会を行う ・ 個別支援が必要な児童生徒への対応を研究する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自校の実態に即した遠隔学習を推進する ・ 児童生徒や保護者が見通しをもって学習を進められるよう 1 週間分の学習計画を提示する ・ 自校の実態に即して ICT 機器を貸出す ・ ICT 環境のない児童生徒が学べる場を提供する ・ 自律した学習者を育てる学びの工夫に対する諸対応を行う ・ 個別支援が必要な児童生徒へ対応する
I ICT活用環境も、学びの工夫も遅れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での学習を回収し、添削して補習するサイクルを確立する ・ 学年内の学習進度が揃うよう、指導計画を見直し改善して共有する ・ Web 会議システムを使って児童生徒とやり取りできるように研修を実施する ・ 各家庭の ICT 環境調査を基に、機器の貸出計画を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙媒体での課題を郵送したり電話やメールを活用したりして学習指導を行う ・ 家庭学習の課題を集めて確認し、分散登校の際に補充指導を行う ・ ICT 環境が整っていない家庭への機器の貸出や、依頼しておいた公共施設等でのオンライン学習を行う
II ICT活用環境は遅れているが、学びの工夫は進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習として課す課題を基に、授業では協働的に学ぶ授業計画を立案する ・ Web 会議システムを用いて児童生徒が探究的に学べるよう研修を実施する ・ 臨時休業になったら活用できる学習支援動画等の情報を集約する ・ 各家庭の ICT 環境調査を基に、機器の貸出計画を作成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での予習と分散登校での対面指導を組み合わせた学習指導を行う ・ 家庭訪問や電話等で児童生徒の学習状況を把握し、補充指導を行う ・ ICT 環境が整っていない家庭への機器の貸出や、依頼しておいた公共施設等でのオンライン学習を行う
III ICT活用環境は進んでいるが、学びの工夫は遅れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web 上での学習プリントのやり取りやオンラインでの協働的な学びの研修を実施する ・ 学年内の学習進度が揃うよう、指導計画を見直し改善して共有する ・ 予習用の授業動画を配信し、学校では協働的に学べるよう、授業計画を見直す ・ ICT 機器をいつでも貸し出せるよう準備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web 上のコンテンツや授業動画を活用して学習指導を行う ・ Web 会議システムを活用した学習内容の解説や質疑応答、学習状況の把握を行う ・ ICT 環境が整っていない家庭へ機器を貸出す
IV ICT活用環境も、学びの工夫も進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を撮影した動画をクラウドへ保存し、いつでも復習できるようにする ・ オンラインの協働的な学びを実現できるよう、日常の授業から双方向で考えを交流し合う学びを推進する ・ ICT 機器をいつでも貸し出せるよう準備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業動画を配信して学習を進める ・ Web 会議システムを用いて、同時双方向型授業を進める ・ Google 等を用いた探究的な学習を推進する ・ ICT 環境が整っていない家庭へ機器を貸出す

